

世界史

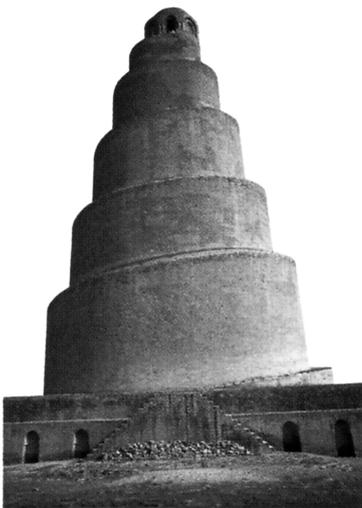
【第1問】古代オリエント文明に関する次の文章を読むとともに、図を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

(a)メソポタミアにはその豊かな土地を求めて様々な民族が移住し、興亡を繰り返した。(ア)は紀元前2700年頃までに、(b)ウル・ウルクなどの都市国家を形成した。(ア)は(c)文字の発明など多くの文化貢献を果たしたが、セム語系のアッカド人や(イ)に取って代わられた。(イ)は前19世紀初頭に(ウ)を建て、ハンムラビ王のときに全メソポタミアを支配した。王は運河の整備によって治水・灌漑を進め、(d)ハンムラビ法典を發布した。

早くから鉄器を使用していたインド＝ヨーロッパ語系の(エ)は、前17世紀半ば頃アナトリアに国家を建設し、前16世紀には(ウ)を滅ぼした。(オ)はザグロス山脈方面から南メソポタミアに侵入して、(ウ)滅亡後のメソポタミア南部を支配した。そして、北メソポタミアには(e)ミタンニ王国が成立した。

図

①



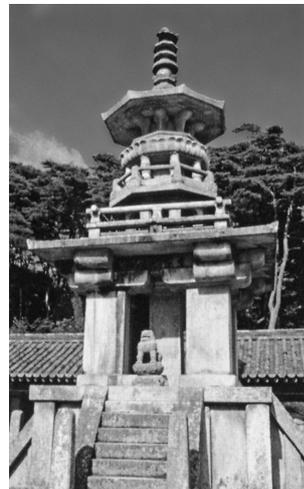
②



③



④



問1 下線部(a)メソポタミアに関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：ナイル川とユーフラテス川に挟まれた地域をいう。

Y：「肥沃な三日月地帯」の一部である。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問2 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑨の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アムル人
- ②アーリヤ人
- ③カッシート人
- ④ギリシア人
- ⑤ゲルマン人
- ⑥シュメール人
- ⑦ヒッタイト人
- ⑧フェニキア人
- ⑨ヘブライ人

問3 下線部(b)ウルに関連して、ジググラト（聖塔）の写真として最も適当なものを、図の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

問4 下線部(c)文字の発明に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：楔形文字をつくった。

Y：その文字は粘土板に刻まれた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問5 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑨の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アムル人
- ②アーリヤ人
- ③カッシート人
- ④ギリシア人
- ⑤ゲルマン人
- ⑥シュメール人
- ⑦ヒッタイト人
- ⑧フェニキア人
- ⑨ヘブライ人

問6 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①クシュ王国
- ②新バビロニア
- ③バビロン第1王朝
- ④リディア

問7 下線部(d)ハンムラビ法典に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も
適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：復讐法の原則に立っていた。

Y：被害者の身分によって刑罰に差があった。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問8 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑨の中から一つ選び、
番号で答えなさい。

- ①アムル人
- ②アーリヤ人
- ③カッシート人
- ④ギリシア人
- ⑤ゲルマン人
- ⑥シュメール人
- ⑦ヒッタイト人
- ⑧フェニキア人
- ⑨ヘブライ人

問9 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑨の中から一つ選び、
番号で答えなさい。

- ①アムル人
- ②アーリヤ人
- ③カッシート人
- ④ギリシア人
- ⑤ゲルマン人
- ⑥シュメール人
- ⑦ヒッタイト人
- ⑧フェニキア人
- ⑨ヘブライ人

問10 下線部(e)ミタンニ王国に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 10

X：前7世紀前半に全オリエントを征服した。

Y：王は専制君主であり、駅伝制を設けた。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

【第2問】魏晋南北朝時代の中国に関する次の文章を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

（ア）を契機として後漢が滅びると、(a)魏・蜀・呉が抗争を繰り返す三国時代となった。その後、司馬炎（武帝）が建国した晋（西晋）が中国を統一したが、（イ）がおこり、混乱に陥った。4世紀初頭、華北への移住を進めていた(b)五胡が蜂起し、晋は滅亡した。しかし、司馬睿が建康で即位して、晋を再興した（東晋）。

その後、華北では多くの国々が興亡したが、5世紀前半、（ウ）の拓跋氏が建てた(c)北魏が華北を統一した。孝文帝は洛陽へ遷都し、（ウ）の制度や習俗を中国的なものに改めたが、こうした政策に反発した人々が起こした（エ）をきっかけに、北魏は分裂して滅亡した。6世紀半ば、モンゴル高原では(d)突厥が勢力を伸ばし、これと結んだ（オ）が華北を再統一した。

一方、東晋は王朝の基盤が弱く、長期にわたる軍事的緊張を背景に武将が力をつけるようになり、5世紀前半に滅んだ。これ以降、長江流域では(e)4王朝が次々に交替した（南朝）。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑨の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①安史の乱
- ②紅巾の乱
- ③黄巾の乱
- ④黄巢の乱
- ⑤呉楚七国の乱
- ⑥赤眉の乱
- ⑦陳勝・呉広の農民反乱
- ⑧八王の乱
- ⑨六鎮の乱

問2 下線部(a)魏に関連して、九品中正に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：科挙に代わる官吏登用制度である。
Y：豪族による上級官吏独占をまねいた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問3 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑨の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①安史の乱
- ②紅巾の乱
- ③黄巾の乱
- ④黄巢の乱
- ⑤呉楚七国の乱
- ⑥赤眉の乱
- ⑦陳勝・呉広の農民反乱
- ⑧八王の乱
- ⑨六鎮の乱

問4 下線部(b)五胡に含まれないものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①羌
- ②匈奴
- ③羯
- ④柔然
- ⑤鮮卑
- ⑥氐

問5 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①羌
- ②匈奴
- ③羯
- ④柔然
- ⑤鮮卑
- ⑥氐

問6 下線部(c)北魏に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：国家による土地の給付を原則とする均田制を創始した。

Y：中央政府には三省・六部を中心とした分業体制が確立した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問7 空欄（エ）に入る語句として最も適切なものを、次の①から⑨の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①安史の乱

②紅巾の乱

③黄巾の乱

④黄巢の乱

⑤呉楚七国の乱

⑥赤眉の乱

⑦陳勝・呉広の農民反乱

⑧八王の乱

⑨六鎮の乱

問8 下線部(d)突厥に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：天神（テングリ）を信仰し、君主はその権威の下で可汗を称した。

Y：絹馬貿易によって、莫大な利益を得た。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問9 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①西魏
- ②東魏
- ③北齊
- ④北周

問10 下線部(e)南朝に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：古今の名文を集めた『文選』が編纂された。

Y：李白・杜甫らの詩人が名作を生み出した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

【第3問】ルネサンスに関する次の文章を読むとともに、地図を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

ルネサンスは(a)フィレンツェなどのイタリア諸都市で14世紀に始まり、15世紀以降西ヨーロッパ各地に広まった、文芸・科学・芸術など多方面で展開された文化運動である。その背景には、中世末期の黒死病（ペスト）の大流行がある。多数の死者が出たため、生ける者としての人間に大きな価値が見出されるようになった。

文芸では、（ア）の下で豊かな成果が生み出された。例えばダンテの『神曲』、（イ）の『叙情詩集』、（ウ）の『デカメロン』、（エ）の『愚神礼賛』などである。絵画では、遠近法の一つである一点透視法を用いた(b)「最後の晩餐」が有名である。建築では、均整と調和を重視するルネサンス様式が成立し、16世紀初頭には(c)サン＝ピエトロ大聖堂の改築が始まった。科学の面では、トスカネリによって（オ）が、コペルニクスによって（カ）が唱えられた。

ルネサンス期には一連の重要な発明もなされた。中国伝来の羅針盤が改良されると航海術が大きく変わり、(d)ヨーロッパ人の海洋進出を促した。また、（キ）による活版印刷術の改良と紙の普及によって可能となった大量の印刷物は、知識の拡大を促し、その後の宗教改革の一助ともなった。

地図



問1 下線部(a)フィレンツェの位置として最も適当なものを、地図の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

問2 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①神秘主義
- ②人文主義
- ③長老主義
- ④万人司祭主義

問3 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑨の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①エラスムス
- ②シェークスピア
- ③セルバンテス
- ④チョーサー
- ⑤ドナテルロ
- ⑥ペトラルカ
- ⑦ボッカチオ
- ⑧ボッティチェリ
- ⑨ラブレール

問4 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑨の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①エラスムス
- ②シェークスピア
- ③セルバンテス
- ④チョーサー
- ⑤ドナテルロ
- ⑥ペトラルカ
- ⑦ボッカチオ
- ⑧ボッティチェリ
- ⑨ラブレール

問5 空欄(エ)に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑨の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① エラスムス
- ② シェークスピア
- ③ セルバンテス
- ④ チョーサー
- ⑤ ドナテルロ
- ⑥ ペトラルカ
- ⑦ ボッカチオ
- ⑧ ボッティチェリ
- ⑨ ラブレー

問6 下線部(b)「最後の晩餐」に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：作者は「万能人」を代表する人物である。

Y：作者はフィレンツェ市庁舎前に置かれた「ダヴィデ像」を制作した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問7 下線部(c)サン＝ピエトロ大聖堂の改築に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：ブルネレスキやラファエロが設計に参加した。

Y：メディチ家出身の教皇はその費用を得るために、贖宥状を売り出した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問8 空欄（オ）（カ）に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①オ：地球球体説 カ：地動説
- ②オ：地球球体説 カ：天動説
- ③オ：地動説 カ：地球球体説
- ④オ：地動説 カ：天動説
- ⑤オ：天動説 カ：地球球体説
- ⑥オ：天動説 カ：地動説

問9 下線部(d)ヨーロッパ人の海洋進出に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：バルトロメウ＝ディアスが喜望峰に到達し、アフリカ南端を確認した。

Y：ヴァスコ＝ダ＝ガマがインドに到達し、アジア航路を開拓した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問10 空欄（キ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ケプラー
- ②ゲーテンベルク
- ③プトレマイオス
- ④ラブラース

【第4問】1920年代の国際秩序に関する次の文章を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

パリ講和会議を通して成立したヨーロッパの国際秩序は、（ア）と呼ばれる。アメリカ合衆国の（イ）は「十四カ条」を掲げたが、一部しか実現しなかった。ドイツとは（ウ）が結ばれ、巨額の賠償金の支払い、全植民地の放棄、大幅な軍事制限、徴兵制の廃止などが課された。

1920年、史上初の国際平和機構である国際連盟が創設された。（エ）に本部を置き、(a)総会・理事会・連盟事務局を中心に運営された。しかし、参加国の問題を抱え、紛争解決能力にも不備があったため、平和維持機能は麻痺した。

一方、ワシントン会議を通して成立したアジア・太平洋地域の国際秩序は、ワシントン体制と呼ばれる。会議では海軍軍備制限条約が締結され、主力艦の保有比率はアメリカ・イギリス・日本の間で5・5・（オ）とされた。また、太平洋地域の現状維持などを定めた（カ）が調印され、これに伴い（キ）は解消された。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ウィーン体制
- ②ヴェルサイユ体制
- ③パクス＝ブリタニカ
- ④パクス＝ロマーナ

問2 空欄（ア）に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：民族自決の理念のもと、チェコスロヴァキアなどが成立した。
Y：旧オスマン帝国領のシリアは、イギリスの委任統治下に入った。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問3 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ウィルソン大統領
- ②セオドア＝ローズヴェルト大統領
- ③トルーマン大統領
- ④フランクリン＝ローズヴェルト大統領

問4 空欄（イ）に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 34

X：人権を重視する外交を追求し、パナマ運河をパナマへ返還する条約を成立させた。

Y：経済圏確保のため、ラテンアメリカ諸国への干渉をひかえる「善隣外交」を行った。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問5 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑤の中から一つ選び、番号で答えなさい。 35

①ヴェルサイユ条約

②サン＝ジェルマン条約

③セーヴル条約

④トリアノン条約

⑤ヌイイ条約

問6 空欄（ウ）に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 36

X：ドイツは戦勝国による分割占領となった。

Y：ラインラントが非武装化された。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問7 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 37

①ウィーン

②ジュネーヴ

③ニューヨーク

④パリ

問8 下線部(a)総会・理事会に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：総会では全会一致を採用した。

Y：日本は常任理事国となった。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問9 空欄（オ）に入る数字として最も適当なものを、次の①から⑤の中から一つ選び、番号で答えなさい。

① 1

② 2

③ 3

④ 4

⑤ 5

問10 空欄（カ）（キ）に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①カ：九カ国条約 キ：三国同盟

②カ：九カ国条約 キ：日英同盟

③カ：四カ国条約 キ：三国同盟

④カ：四カ国条約 キ：日英同盟